

またもや列車妨害！些細なことでも報告を！

7月10日深夜 線路にタイヤが置かれ、貨物列車に衝突！

7月10日午前2時20分頃、JR東海道線・高塚駅～舞阪間走行中の貨物列車が、東光寺踏切付近（浜松市西区坪井町）で線路上に置かれたタイヤ2本と衝突するという事象が発生しました。

この付近は、昨年8月～9月にかけて、貨物列車が線路に置かれた自転車やコンクリートブロックなどに衝突した箇所でもあります。

また、当該列車の4分前には別の貨物列車が現場を通過していますが、異常はありませんでした。たった4分の間にタイヤが放置された可能性もあり、奇怪な事象です。

1949年7月には下山事件、三鷹事件が発生し、8月には松川事件が発生しました。いわゆる三大フレームアップです。そして、この三大フレームアップの翌年に朝鮮戦争が勃発しました。

1949年は、多くの列車妨害が発生し、奇怪な事象も発生しています。その歴史の教訓を現代に生かし、職場と仲間を守るために警戒心をもって業務を遂行しましょう。

警戒心を高め、報告・連絡・相談を徹底しよう！

2019/7/10 静岡新聞ネット記事

線路にタイヤ、貨物列車が衝突 浜松のJR東海道線

2019/7/10(水) 17:01 配信



貨物列車とタイヤが衝突した現場＝10日午前6時40分ごろ、浜松市西区坪井町

10日午前2時20分ごろ、浜松市西区坪井町のJR東海道線東光寺踏切付近で、宇都宮貨物ターミナル発広島貨物ターミナル行き下り貨物列車（26両編成）が線路上にあった車用とみられるタイヤ2本と衝突し、緊急停止した。乗務員にけがはなかった。浜松西署は故意に置かれた可能性があるとして、往来危険の疑いで捜査している。

同署によると、貨物列車の運転士が線路上に異物を発見して緊急停止した。JR東海静岡支社によると、この影響で下り寝台特急が33分遅れ、約165人に影響した。

現場は同踏切から西に2～3メートルの地点。周囲には住宅や畑が点在し、ビニール

ハウスの重しとしてタイヤを利用している畑もある。

同市内のJR東海道線では、昨年8～9月にかけて貨物列車が線路に置かれた自転車やコンクリートブロックと衝突したり、石とみられる粉砕の跡が見つかったりする事案が相次いでいた。